

五三減蔵
ごみげんぞう



生まれも育ちも浜松市のにんじゃ。
分別が得意でごみ減量に向けて
かげから支える。

せっしゃたちが

紹介するでござる!

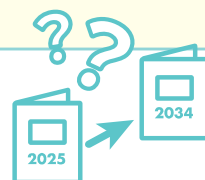


げんぞう とも
減蔵のお供
五三素凡
ごみすつぽん

げんぞう
減蔵とともに育ち、あうんの呼吸。
おくびょうだが食いついたら
とにかくしつこい。

浜松市環境基本計画ってなに？

浜松市が目指す将来の環境の姿や、2025～2034年度の10年間で取り
組むことをまとめた計画です。



目指す将来(2045年)の理想の姿

脱炭素化と循環型社会の形成が進展し、

豊かなくらしや持続的な経済活動と多様な自然環境が共生するまち

現在、地球温暖化や色々な生き物の減少、大気や水のよごれなど
が世界で大きな問題となっています。こうした環境に関する問題
を解決するためには、一人ひとりが環境にやさしい生活や行動を
心がけ、続けていくことが大切です。

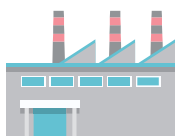
市民のみなさんと山・川・海などの豊かな自然や生き物が、
いっしょに暮らすことができるまちを目指します。



浜松市が 取り組んで いくこと (基本的な政策)

将来の理想の姿を実現する
ために、浜松市が取り組んで
いくこと(基本的な政策)を
大きく5つにまとめました。

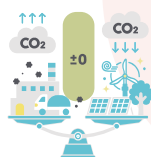
1 生活環境の保全



①～④のすべてに
関係する政策

環境活動を
実践する人づくり・

適正な
環境配慮の促進



3 カーボンニュートラル・ 脱炭素社会の実現

2 循環型社会の形成



4 自然環境との共生

市民のみなさんが気持ちよく暮らすことができるように、空気や水質、音などの様子を調べて、良い状態を保ちます。

どんなことをするの？



きれいな空気を守る

- ▶ 工場などから出る、人や生き物に悪いけむりを少なくするように指導します。
- ▶ 建物をこわすときに、危険な物質であるアスベストが空気中に飛ばないように指導します。



不快な音・ゆれ・においをおさえる

- ▶ 工場などに問題が起きないように、建てる前に指導します。
- ▶ 車や新幹線の音やゆれで困る人がいないか調べます。
- ▶ 地域で不快なにおいが出たときは、においを出しているところを調べて指導します。
- ▶ 心が安らぐ「音・かおり・光」を大切にします。



きれいな空気が
いいでござる



きれいな水を守る

- ▶ 工場などからよごれた水が川に流れないように調べます。
- ▶ 地下水がよごれていないか調べます。
- ▶ か せん 河川の周りの自然を守るためのパトロールなどをします。
- ▶ 生活から出るよごれた水をきれいにするための施設し せつ うん えいを運営します。



考えてみよう！

きれいな佐鳴湖をいつまでも

はままつし さなるこ 浜松市には「佐鳴湖」という湖があり、豊かな自然が広がっています。

かつては、湖のまわりに人が多く住み始めたことで、生活で使った水が流れこみ、湖が大きくよごれてしまったこともあります。

そこで、市民のみなさんとごみ拾いをするなどの活動を続けた結果、少しずつ湖がきれいになってきました。

みなさんも活動に参加して、きれいな佐鳴湖を守っていきましょう。

さなるこ
佐鳴湖 ▶



コラム COLUMN



空気のよごれ

工場や車などから出るけむりによって、空気がよごれることがあります。空気のよごれがひどくなると、人や動物、植物に悪い影響を与えてしまいます。

はままつし 浜松市では、空気のよごれを調べるために、市内の小学校や中学校、協働センターなどで、よごれの原因となるものを特別な機械げん いんではかっています。

たい き そくていきよく
大気測定局 ▶



??
クイズ

空気中のよごれは、どのくらい多くはかるのでしょうか。

- ① 毎日 ② 週に1回 ③ 月に1回

市民のみなさんと協力し、できるだけごみを出さないようにしながら、リサイクルも行って、今ある資源を長く使い続ける社会をつくっていきます。

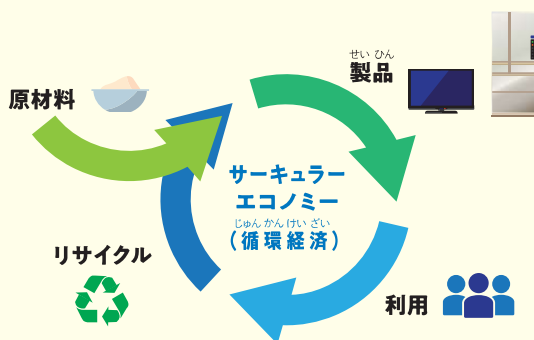
どんなことをするの？



ごみを減らす・リサイクルを進める

- ▶ 生ごみを肥料にする容器の配布などを行います。
- ▶ 紙類の分別を促し、草木を回収する場所を増やします。
- ▶ ごみの出し方やルールをわかりやすくします。
- ▶ 大きな建物から出るごみを減らす取組を呼びかけます。
- ▶ ごみ処理工場を運営し、ごみを安全に処理します。

回収箱に入れて
スッキリでござる



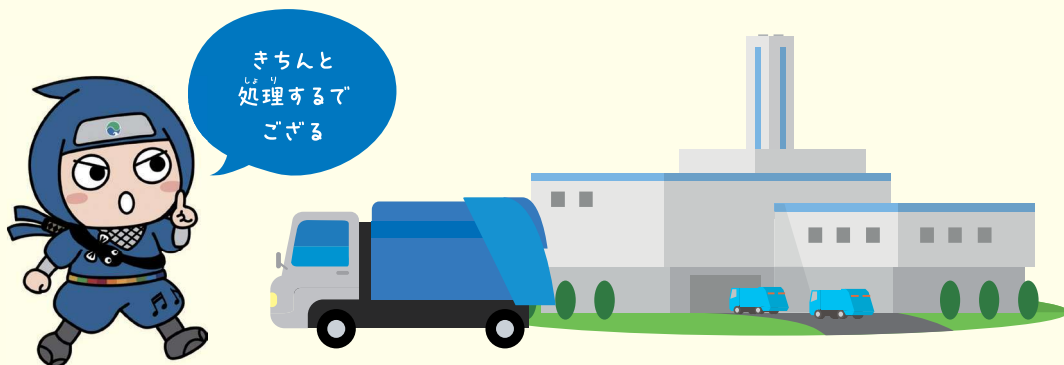
循環型社会とは？

物を大切に使い、ごみを減らして、資源をくり返し使う社会のこと。



事業活動で出るごみの正しい処理を進める

- ▶ 公共の場に事業活動で出るごみが捨てられないようにパトロールをします。
- ▶ 事業活動で出るごみが正しく処理されるように説明やお知らせをします。



考えてみよう!

!! Go!みんなで404 チャレンジ

毎日の生活の中で、ごみがどれくらい出ているか知っていますか?2023年度に浜松市で出た家庭系ごみの量は一人1日あたり455.8gでした。

浜松市では2028年度までに家庭系ごみを一人1日あたり404gまで減らすことを目指して「Go!みんなで404チャレンジ」を進めています。

みなさんのご協力で家庭系ごみの量は少しずつ減ってきています。

もうひとがんばり!みなさんも、雑がみの分別リサイクルや、食べ残しをしないなど、できることから始めてみましょう。



コラム COLUMN



!! 海のプラスチックごみ

レジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみは分解されにくく、海に捨てられてしまうと、海の中に残り続けてしまいます。

これをクジラやウミガメ、小さな魚などがエサとまちがって食べてしまうと、こうした生き物だけでなく、人にも悪い影響を与えてしまいます。

ごみはポイ捨てしないで、きちんと決められた場所に捨てるようにしましょう。



マイクロプラスチック ▲

カーボンニュートラル・ 脱炭素社会の実現



市民や企業のみなさんと協力し、地球温暖化の主な原因となっている
二酸化炭素などの温室効果ガスが実質的に0になる社会を目指します。

どんなことをするの？



二酸化炭素などの温室効果ガスを減らす

- ▶ エネルギーをむだなく大切に使う「省エネ」をしっかりと進めます。
- ▶ 太陽光や風力など、くり返し使えるエネルギーでの発電をできるだけ増やします。
- ▶ 企業や大学と協力し、温室効果ガスを減らすための新しい技術の開発を進めます。
- ▶ 二酸化炭素を吸収する森や緑を増やし、大切に管理します。

カーボン
ニュートラル
とは？

温室効果ガスが出る量と減らす量を
ちょうど同じになるようにすること。

脱炭素社会
とは？

温室効果ガスが出る量が実質的に
0になった社会のこと。

むずかしいけど
大切でござる

考えてみよう！

コラム
COLUMN



一人ひとりができること

温室効果ガスを減らすには、一人ひとりの心がけが大切です。

国では、環境にやさしい活動を「デコ活」と呼び、いろいろな例を紹介しています。

ふだんのちょっとした心がけでも、続けていけば大きな効果になります。

みなさんにも、できることが多くあります。自分にできることを考え、行動してみましょう。

- 使っていない電気をこまめに消す
- 食べ物を残さず食べる
- ごみを分別して、リサイクルする
- エコバッグを使って、レジ袋をもらわない
- 歩いたり自転車に乗ったりして、自動車の使用を減らす

デコ活
くらしの中のエコろがけ





動物・植物など様々な生き物と人がずっといっしょに暮らせるように、
山・川・海などの自然を守ります。

どんなことをするの？



様々な生き物のすみかを守る

- ▶ 豊かな自然がある場所を守り、増やしていきます。
- ▶ 市民のみなさんに生き物の大切さを理解してもらう機会をつくります。
- ▶ 外来生物から生態系への被害が出ないように対策をします。

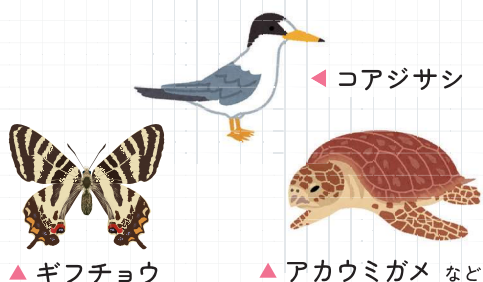


守りたい生物が
いるでござる

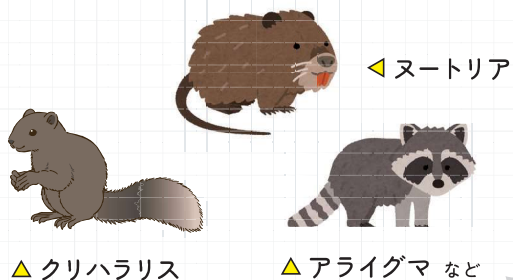


浜松市に生息する生き物

希少生物



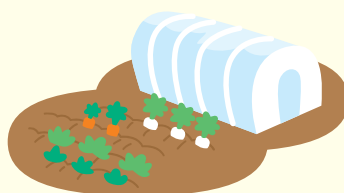
特定外来生物





森林・農地・緑地を守る

- ▶ 質しつが良い木材はんばいの販売を通じて、より良い森林せいびの整備や管理ができるようにします。
- ▶ 市民のみなさんが野菜や花をつくったり、ふれあったりする場として農地を活用します。
- ▶ 田んぼや畑こうさくを耕作しやすく整備したり、貸し借りを進めたりします。
- ▶ 生き物がすむ森林や公園などの緑地を守ります。



考えてみよう！

コラム COLUMN



！！ “春の女神” ギフチョウ

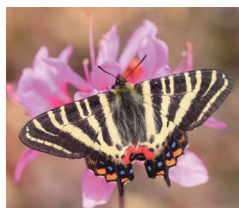
ギフチョウは、春の短い期間しか見られず、花すがたのみつを吸う姿が美しいことから、“春の女神”と呼ばれています。

浜松市では、浜名区引佐町渋川という場所で見ることのできない「ぜつめつきぐしゅ」と呼ばれるちょうちょです。

??
クイズ

次の写真のうち、ギフチョウはどちらでしょうか？

①



②



！！ すごいぞ天竜材

浜松市の北部てんりゅうちいき（天竜地域）は、スギ・ヒノキを中心とした美しい人工林と豊かな自然が広がる森林地帯です。

この森林地帯は、「日本三大人工美林」のひとつと言われ、全国的に「天竜美林」と知られています。

この美林から切り出された「天竜材」は、建物用の木材として品質が高いと言われており、木でつくられた住宅のほか、2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村や、大阪・関西万博の会場など全国で広く使用されています。



環境活動を実践する人づくり ・適正な環境配慮の促進



環境に関して教える人を育てたり、学ぶ機会をつくったりして、環境にやさしい行動をする人を増やします。また、大きな工事を行うときに、環境にやさしい方法で行うように指導します。

どんなことをするの？



環境について学ぶ機会を増やす



- ▶ 環境についてくわしい人や伝える人を増やします。
- ▶ 学校などの先生や、地域で活動する団体などに環境に関することを伝えます。
- ▶ 市民・企業・学校のみなさんなどと協力して環境に関する教育を広めます。





環境にやさしい工事を呼びかける

- ▶ 大きな建物などを建てる時に、環境にやさしい方法で工事をするように呼びかけます。



考えてみよう！

コラム COLUMN



「移動環境教室」で学ぼう！

浜松市では、環境に詳しい人が先生になって、学校や身近な公園などで環境について学んでもらう「移動環境教室」を行っています。

「みどり」「水」「エネルギー」などの分野で環境について学んだり体験したりできるプログラムがありますので、みなさんもぜひ体験してみましょう。



見たことある？ ごみの処理工場

浜松市には、西部清掃工場と天竜エコテラスという2つのごみ処理工場があります。

工場では、収集車がごみを運んでくるところや、特別な機械や設備でごみをもやしたり、細かくくだいたりするところなど、ここでしか見ることのできない様子を見学できます。職員によるガイドや工場の説明もありますので、気軽に見学に来てみてください。



西部清掃工場 ▲



天竜エコテラス ▲